

「野の花の丘便り」6月上旬

今年最初の作業

6月になって「野の花の丘」の草花もぐんぐんと成長しています。5月26日に今年最初の草刈りの作業を行い、セイタカアワダチソウやその他の雑草退治に汗を流しました。雑草に混じっているいろんな種類の木も芽を出していました。木は放っておくとみるみるうちに成長し、切れないくらいの大さになるので、今うちに雑草と一緒に刈り取りました。作業のおかげで、花の数が年々増えて行っているようです。

周りを見渡すとナナカマド、トチノキ、マーガレットなどが咲き出し、季節は一気に夏へ向かっています。

今ここに咲いている花はセンダイハギだけですが、6月下旬になるといろいろな花が一斉に咲き出します。植物にとっても一年で一番良い季節を迎え、また勝負時になります。今年もどんなふうの花を咲かせてくれるのか楽しみに待ちたいと思います

恒例の草刈り作業



皆さんお疲れさまでした



「野の花の丘便り」 6月中旬

つぼみが出てきました

本州の方は梅雨に入りうっとうしい日が続いているようですが、北海道は一年で一番良い季節を迎えます。

センダイハギの花はそろそろ終わりに近づき替わってエゾクガイソウ、ヤナギラン、オカトラノオ、エゾカワラマツバなどが花芽を付けだしています。もうすぐ「野の花の丘」は花の季節を迎えます。

でも心配なことに、今年はチシマアザミが花をつけることなく、ほとんど姿が見えなくなりました。またオトコエシ、カワミドリも生存競争が厳しそうで、めっきり数が少なくなってきました。何とか頑張ってもらいたいものです。

もうすぐ夏至となり暦の上では夏の真ん中、一番日が長く、太陽の力が極まるような気がします。

植物の成長はピークを迎えます。

エゾクガイソウ



ヤナギラン



オカトラノオ



エゾカワラマツバ



「野の花の丘便り」 6月下旬

もうすぐ花の季節になります

4月下旬に芽を出しはじめた「野の花の丘」の花も2ヶ月ですっかり成長しました。5月中旬頃、最初に花を咲かせたセンダイハギは、花が終わり実をつけています。

かわってヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオなどの花芽がぐんぐんと大きくなり、花を咲かせる直前までになって来ています。もうすぐここ「野の花の丘」は色とりどりの花の季節を迎えます。

一方でめっきり少なくなり、なくなったのではないかとヤキモキしたオミナエシ、オトコエシ、カワミドリなどもようやく確認できてやれやれ一安心、といったところです。

夏至も過ぎて、植物は成長の時期から花の時期へと向かいます。

つぼみがずいぶん大きくなりました

ヤナギラン



オカトラノオ



エゾクガイソウ



「野の花の丘便り」7月上旬

ヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオ

今年の6月は梅雨のような雨の多い日が続きましたが7月になって急に暑くなってきました。「野の花の丘」も主役の花たちが咲き始めました。

ヤナギランはアカバナ科、赤紫色に涼しげに揺れる上品な花です。葉の形が柳に似て、花はランのようなことから名づけられました。種は白い綿毛で風によってどんどん広がります。

エゾクガイソウはゴマノハグサ科、小さな紫色の花を沢山つけ、花は下から上へと咲き上がります。クガイ(九蓋)とは、葉が何段にも重なってつくことによります。

オカトラノオはサクラソウ科、白い花が密に咲き根元から先端へと咲き上がります。長く伸びた花を虎の尻尾に見立てています。いよいよ花の季節。

短い夏、花たちは懸命に競い合って咲いています。

ヤナギラン の花

エゾクガイソウ の花

オカトラノオ の花



「野の花の丘便り」7月中旬

花の盛りの時期になりました

7月になっても雨の日が多く梅雨のようなくっとうしい日が続いています。7月7日に今年2回目の草刈りの作業を行い、すっきり、さっぱりとしてきれいになりました。毎年の作業のおかげで花も随分多くなりました。

今はヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオが目立っていますが、エゾカワラマツバ、ノコギリソウ、ヒヨドリバナなども地味に花をつけています。

ただ心配なことにクサレダマ(腐れ玉ではなく草連玉)に白い虫がつき、葉っぱ、花の芽を食べ放題だと言わんばかりに食べつくしています。名前がわからないのですが、今年は去年よりすごく増えています。クサレダマが今年も綺麗な花を咲かせてくれるのか心配です。

雑草だけではなく虫までも。花も敵が多いようです。

地味に咲いている花々

エゾカワラマツバ



ノコギリソウ



ヒヨドリバナ



クサレダマについての白い虫



「野の花の丘便り」7月下旬

花の種類が移り変わります

約1ヶ月のあいだ目を楽しませてくれたヤナギラン、エゾクガイソウが盛りを過ぎ、替わってキク科のノコギリソウ、ヒヨドリバナ、ハンゴンソウ、キキョウ科のツリガネニンジン、秋の七草のひとつであるオミナエシや、秋を感じさせるエゾミソハギ、トモエソウが咲き出しました。また白い花ですが、妙に目立っているオカトラノオや紫色のコバギボウシが満開となり、咲いている花の種類では一番多い時期になりました。

一方で周りを見渡してみますと、ナナカマドの葉が少し色づき始め、トンボも飛び始めています。今年の7月は雨が多かったせいか、まだ夏の実感がないのですが、植物の世界では今はもう秋。

少し寂しさを感じさせる雰囲気はただよい始めました。

咲き出した花々 ノコギリソウ



コバギボウシ



ツリガネニンジン



オミナエシ



「野の花の丘便り」8月上旬

いろいろな花が咲いています

エゾクガイソウの花は終わり、ヤナギラン、オカトラノオ、トモエソウ、ヒヨドリバナ、コバギボウシの花も終わりに近づいています。替わってツリガネニンジンが満開、また今年はオミナエシが増え、あちらこちらで目立っています。エゾミンソハギ、キンミズヒキ、ハンゴンソウなどの花も姿を現しました。

キク科のエゾノコンギクも咲き始め秋の気配が漂ってきました。厄介者のセイタカアワダチソウも花をつけ始めています。ほとんど姿が見えなくなって心配していたオトコエシとカワミドリも隅っこの方で何とか姿が見られます。

オミナエシ(女郎花)はあんなに元気なのですから男(郎花、オトコエシ)も女(郎花、オミナエシ)に負けないように頑張ってもらいたいものです。

今目立っている花々

ツリガネニンジン



キンミズヒキ



エゾミンソハギ



ハンゴンソウ



オミナエシ



オトコエシ



「野の花の丘便り」8月中旬

花が移り変わります

エゾクガイソウはすっかり枯れ、ヤナギランは綿毛を飛ばし、オカトラノオも種を付けだしています。薄紫色のツリガネニンジンの花も終わりに近づいています。

今は黄色い花が目立ちます。秋の七草の一つのオミナエシ、バラ科のキンミスヒキ、白い虫にすっかり食べ尽くされていたクサレダマ、ガタイはでかいのですが、花はあまり目立たないハンゴンソウ、厄介者のセイタカアワダチソウ、みんな黄色です。

赤い花はエゾミンハギくらいでしょうか。黄色、白とあまり目立たない花が多くなり、残念ながら「野の花の丘」は、今は少し華やかさに欠ける時期のようです。

また園路の反対側にあるにあるハギの花がピンクの花を付け始めました。立秋も過ぎ「野の花の丘」は確実に秋へと向かっているようです。

あまり目立たない黄色い花々

オミナエシ



キンミスヒキ



クサレダマ



少し目立つエゾミンハギ



ハギ



「野の花の丘」8月下旬

セイタカアワダチソウが目立ってきました

8月も下旬となり、「野の花の丘」は花が少なくなり、夏枯れというような状況になっています。そして招かれざるセイタカアワダチソウの花が目立ってきました。

数年前まではここはセイタカアワダチソウで埋め尽くされていましたが、ボランティアの皆さんの活動のお陰でこの厄介者が少なくなり、花も年々増えてきました。

でも今年残念なことに、クサレダマがわけの分からない白い虫にすっかり食べつくされて、花がほとんど咲いていません。来年からは虫対策も必要になりそうです。

今、華やかさには欠けますが、ススキの大きな株が秋の風情をかもし出しています。エゾノコンギク、ユウゼンギク、エゾゴマナとキクの仲間が花をつけはじめ少し寂しいけど「野の花の丘」はいよいよ秋本番です。

あまり頑張ってもほしくないセイタカアワダチソウ



秋の風情のススキ

これからの主役エゾノコンギク



「野の花の丘便り」9月上旬

花が少なくなり寂しくなってきました

9月になり、「野の花の丘」はすっかり秋の雰囲気
が漂ってきました。ここには北海道の野や山に自生してい
る花を集めています。園芸品種と比べて、華やかさには
欠けますが、野の花ならではの地味な美しさがあります。

今年も野の花の天敵のようなセイタカアワダチソウが
はびこってきたので9月1日に引き抜く作業を行いました。
この外来種は繁殖力が強く、放っておくとほかの花が皆
やられてしまいます。毎年の作業のお陰で随分と少なく
なりましたが、残念ながらしぶとく生き残っています。

今咲いている花は地味ですが、オミナエシ、エゾミン
ハギ、キンミスヒキなどです。もうすぐ秋の主役のユウ
ゼンギクが咲き出し、いよいよ秋本番です。

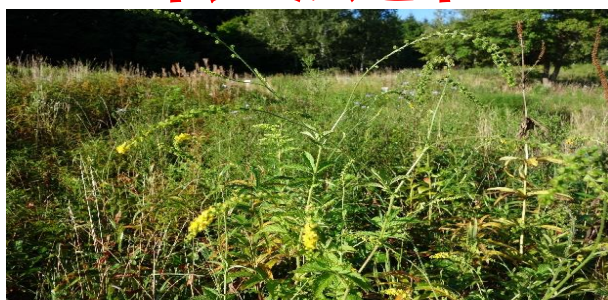
春から夏、夏から秋へと、何ということでしょう

季節はあれよあれよという間に移り変わっていきます。

エゾミンハギ



キンミスヒキ



皆さんお疲れ様でした



「野の花の丘便り」9月下旬

萩とユウゼンギク

9月下旬ともなるとほとんどの花が終わり、今は薄紫色のユウゼンギクが咲き誇っています。8月までは存在感がなかったのですが、今までどこでどうしていたのでしょうか、9月の声を聞いた途端に咲き始め、あっという間に満開となり、今この花で覆いつくされています。

一方園路の反対側ではピンク色の萩の花がこれまた満開となっています。萩は草かんむりに秋と書き、まさに秋の花、秋の七草として古くは万葉の時代から愛でられてきました。地上部は冬になると枯れ、毎年新しい芽を出すことから、「はえぎ（生え芽）」となり、次第に「はぎ」に変化したと言われています。

花言葉は「柔軟な精神」、見習いたいですね。

萩とユウゼンギクが競い合っています



萩

ユウゼンギク



「野の花の丘」便り_{10月}

今年もお疲れさま

10月は台風で始まりました。9月の台風や地震のような被害がなくて良かったと少し安心です。台風の後すっかり雰囲気が変わり、秋の風情がただよってきています。

「野の花の丘」の花もほぼ終わり、今はユウゼンギクが咲いてるだけになりました。木々の紅（黄）葉はこれからですが、草花は一足早く来春へ向けての冬支度です。

5月のセンダイハギに始まり、6月から7月にかけてのヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオ、ツリガネニンジン、8月のオミナエシ、9月のユウゼンギクなどたくさんの花々が目を楽しませてくれました。

お疲れさまでした、来年もまたよろしくお願ひします。今年の「野の花の丘」便りも終わりにしたいと思います。

今年目を楽しませてくれた花々

センダイハギ



ヤナギラン



エゾクガイソウ



オカトラノオ



ツリガネニンジン



オミナエシ

